

9月11日火曜日、例会終了後、柏市酒井根にある施設「光陽園」様に訪問、施設内見学に伺いました。

光陽園は、平成26年4月に東葛地域で初めて開設された重症心身障害児者施設です。施設内は、明るく、清潔で、至る所に季節を感じることができる工夫がされています。

今は職員の方が手作りしたハロウィンのオーナメントがたくさんあり、入所されている方ばかりでなく、訪問した私たちにも至る所で秋の訪れを感じさせてくれました。

また、院内には千葉県立松戸特別支援学校の院内学級として、小学部、中等部、高等部が設置されています。入所されている学生のみなさんは、週5日登校し、授業を受ける教育体制が整備されています。院内で運動会も行われるそうです。

夏祭り、クリスマス会、誕生日会などの季節行事や、トランポリンや製作、リラクゼーションの一環である「スヌーズレン」など様々な療育活動が行われています。伺ったときは、ちょうど誕生日会が行われていて、皆さんで楽しく誕生日の方をお祝いしていました。

光陽園の開設までには、ずいぶん長い時間がかかったと伺い、多くの方々のご尽力により開設に至ったことを実感いたしました。

「一度施設に入所すると、一生を施設の中で過ごすこととなる」その言葉を伺い、また実際に入所されている方やそのご家族に直接お目にかかり、自分の日常に当たり前のようにある自由や、見過ごしてしまうような幸せを改めて考えることとなりました。



明るく清潔で季節を感じる「光陽園」

五感を刺激する治療「スヌーズレン」

